

①屋内温水プール				
室名	面積 (㎡)	部屋数	面積 (㎡)	備考
プール、プールサイド			1,100	メインプール：25m×6コース(コース幅2.0m) 幼児用プール：親子連れの利用・幼児向けのすべり台等の設置 多目的プール：小学生から高齢者までで浮き輪利用を想定（例：流水プール、ウォータースライダー・水上アスレチック等（週末等のみの設置も可）） プールサイド：児童・生徒80名が準備体操ができ、待機できるスペース、水深調整材置き場、壁面シャワー
採暖室	20	1	20	プールサイドに面した位置に設置、15名程度の同時利用を想定
器具庫			適宜	ビート板100個、ヘルパー（腕用）20個、ヘルパー(腰用)50個程度、コースロープなどを収納
監視室	10	1	10	プール全体を監視しやすい位置、保管スペースの確保
救護室	15	1	15	プールサイドに面した位置、5名程度の救護者（体調不良者やケガをした人）の同時利用
更衣室（一般用）			270	一般用(男子、女子各1室) ロッカー、シャワー室、トイレ、洗面化粧コーナー、水飲み設備を含む
更衣室（児童生徒用）			180	児童・生徒用（男子、女子各1室）各50名程度 トイレ、シャワー、洗面台、ロッカー（扉・鍵なし）を含む
多目的用更衣室	30	1	30	個室を2部屋設ける、1部屋につき2～3名と車椅子が入るスペース、多目的用シャワー室、トイレを含む
観覧スペース	40	1	40	プール全体を見渡せる位置に設置 児童・生徒20名と一般観覧者10名程度が同時に利用できるスペース 児童と一般観覧者を分離可能な可動式スライドを設置
②温浴・サウナ施設				
浴室	100	2	200	浴室内に男女各10名の同時利用を想定。主浴槽、シャワーブース、サウナ、水風呂を設置し、主浴槽には変わり風呂（パイプラバス、ジェットバス、電気風呂等）の機能も付帯
脱衣所			80	男女各1室、トイレ、ロッカー、洗面化粧コーナー、水飲み設備、ベビーベッドを含む
③子育て応援施設（市運営）				
キッズスペース	100	1	100	未就学児を対象とし、安全性を重視した空間設計。床材には消毒可能なウレタン素材等を採用
キッズスペース前室 (フリースペース)	20	1	20	キッズスペースを見渡せる配置等とし、親子で飲食できる空間、ベビーカー置場を設ける
相談室	15	2	30	相談者のプライバシーに配慮した配置
事務室	30	1	30	キッズスペースや人の出入りに常に目が届くようにEV及び階段前等に配置
職員更衣室			16	男女各1室設ける
給湯室	10	1	10	
書庫・倉庫	30	1	30	
クッキングルーム	40	1	40	先生用にアイランドキッチン1台設置、 受講者用の机(ガスレンジやシンクはなし)4台設置
④スタジオ・トレーニング室				
マルチスタジオ	110	2	220	1室あたり最大20名程度の同時利用を想定、壁の1面にミラーを設置、倉庫を含む
トレーニングルーム	240	1	240	最大40名程度の同時利用を想定、倉庫を含む
⑤音楽スタジオ				
音楽スタジオ	30	1	30	防音扉（二重扉）、最大5名での利用を想定、器具庫を含む
⑥事務室				
施設受付・事業者用事務室	50	1	50	施設受付をエントランスホールに面した位置に設置（打合せ スペース 含む）
⑦共用部等				
エントランスホール・風除室 (一般利用者用)	150	1	150	利用者用休憩スペース、ベビーカー・車椅子置き場、下足入れを含む
エントランスホール・風除室 (児童用)	30	1	30	下足入れを含む
機械室			適宜	熱需給設備、受変電設備、ポンプ設備、プール・温浴施設のろ過設備、非常時用ろ過機等を設置
トイレ1F（プール・温浴以外用）			30	男女トイレ（幼児用便器を親子トイレブースとして各1基、ベビーベッドを各1台設置、多目的トイレ（オストメイト対応）施設内に1か所以上設置
トイレ2F			40	男女トイレ（幼児用便器を親子トイレブースとして各1基、ベビーベッドを各1台設置、多目的トイレ（オストメイト対応）施設内に1か所以上設置
授乳室			5	混合水栓洗面器含む
階段・EV、廊下			適宜	
			合計（㎡）	
				3,600

※全体面積については、3,600㎡以上とすること。各諸室面積は参考基準とし、増減は可とする。

※ただし、③子育て応援施設については、出来る限り表示面積を確保すること（５％程度の増減は許容する。）。

⑧外構等			
駐車場		適宜	乗用車駐車場できるだけ多くを確保、思いやり駐車場3台程度、玄関前ロータリー形式にて大型バス2台のスペースを確保。
駐輪場		適宜	屋根・照明付き（自転車用、バイク用）
植栽帯		適宜	